

報告事項 3

学力・学習状況充実プランについて
のことについて、別紙資料に基づき報告します。

平成26年3月25日
義務教育課

平成 25 年度全国学力・学習状況調査 学力・学習状況充実プラン

県としての改善の指針

改善の指針 1	1
改善の指針 2	2
改善の指針 3	3
改善の指針 4	4
改善の指針 5	5

愛知県全体の傾向

1 教科に関する調査の全体傾向	6
2 質問紙調査の全体傾向	9
3 国語の傾向と改善の方策	11
4 算数・数学の傾向と改善の方策	15
5 児童質問紙から見られた傾向	19
6 生徒質問紙から見られた傾向	25
7 学校質問紙から見られた傾向	31

愛知県教育委員会義務教育課

平成 26 年 2 月

愛知県全体の傾向を踏まえた、県としての改善の指針

改善の指針1

学習への関心を高めるため、授業改善を推進する。

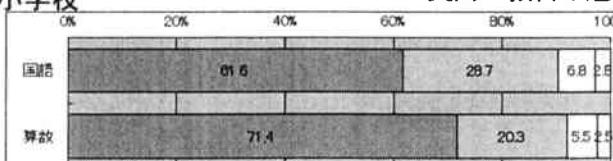
多くの児童生徒が「教科の勉強は大切」、「授業の内容はよく分かる」と回答しているが、それに比べ「勉強は好き」と回答する児童生徒は少ない状況が依然として続いている。また、学校の取組としては、博物館や科学館、図書館、地域人材などの活用や実生活との関連を図った指導が少ない傾向にある。

児童生徒の「分かるようになりたい」、「できるようになりたい」という思いに応えるため、学習への関心を高める教材開発や地域及び学校の教育資源を効果的に活用した指導の工夫をさらに進め、楽しい授業、分かる授業、できる授業づくりを目指したい。

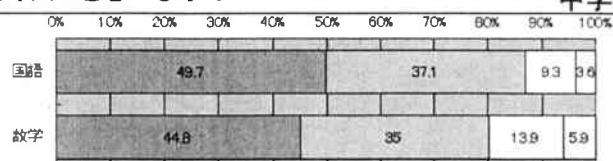
◇「本県の児童生徒の学習への意識」児童生徒質問紙より

小学校

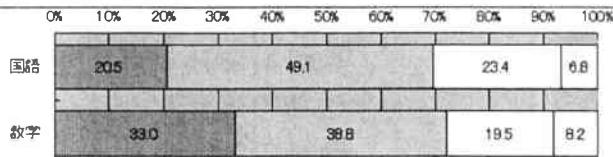
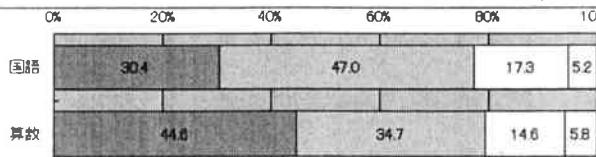
質問：教科の勉強は大切だと思いますか



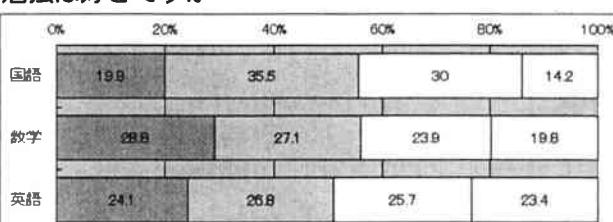
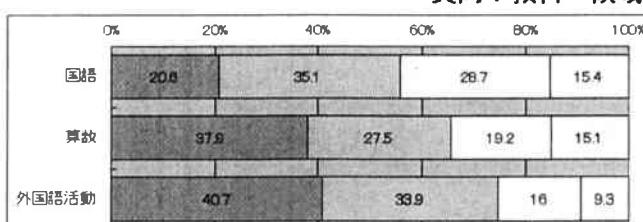
中学校



質問：授業の内容はよく分かりますか

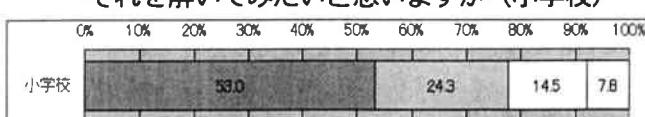


質問：教科・領域の勉強は好きですか

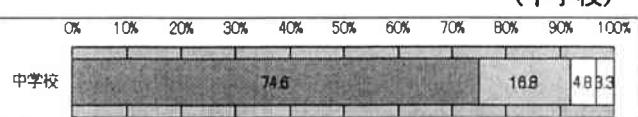


質問：算数の授業で新しい問題に出合ったとき、

それを解いてみたいと思いますか（小学校）



（中学校）

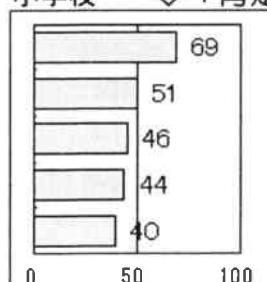


□当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかと言えば、当てはまらない □当てはまらない

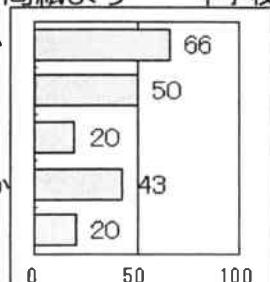
小学校

◇「肯定的な回答が少なかった学習指導に関する項目」学校質問紙より

中学校



- 生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか
- 算数・数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか
- 博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか
- 情報通信技術を活用し、協働学習や課題発見・解決型の指導を行いましたか
- ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか



100%の児童生徒が、
「当てはまる」と回答した場合 … [100] 「どちらかといえば当てはまる」 … [67]
「どちらかといえば当てはまらない」 … [33] 「あてはまらない」 … [0]
となる数に換算した。

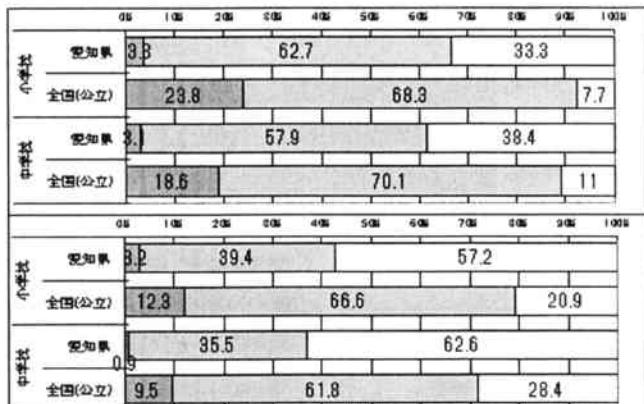
改善の指針2 個に応じたきめ細かい指導を充実させる。

全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果の活用状況は、前年度より増加したものの活用の状況は依然として低い。また、授業では、小・中学校ともにチームティーチングを実施する学校が多いが、ボランティア等による学習サポートや、発展的・補充的な学習指導は全国に比べあまり行われておらず、授業時間外での補充的な学習サポートも少ない。

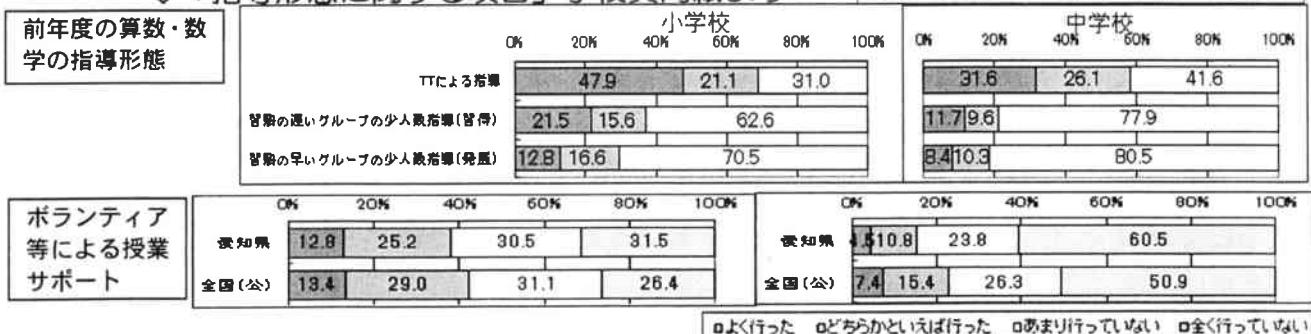
個に応じた指導の実現のためには、まず、客観的なデータを基に学級集団や児童生徒一人一人の学力の状況を的確に把握する必要がある。その上で、目の前の児童生徒の実態に合わせて指導方法や評価、指導形態を工夫し、改善することで、きめ細かい指導を充実させたい。

◇「学力調査の結果の活用について」学校質問紙より

質問：平成24年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を利用し、具体的な教育指導の改善等を行いましたか



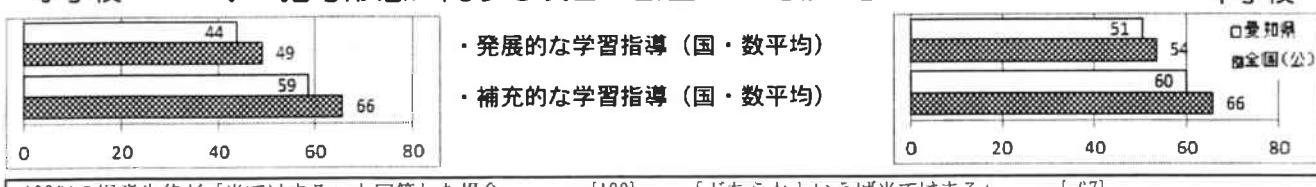
◇「指導形態に関する項目」学校質問紙より



小学校

◇「指導形態に関する項目～全国との比較～」学校質問紙より

中学校



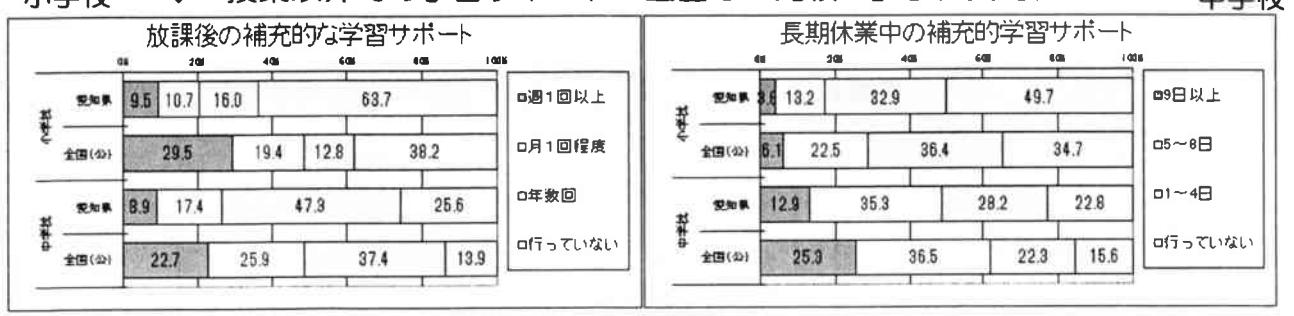
100%の児童生徒が「当てはまる」と回答した場合…[100]
「どちらかといえば当てはまらない」…[33]

「どちらかといえば当てはまる」…[67]
「あてはまらない」…[0]となる数に換算した。

小学校

◇「授業以外での学習サポート～全国との比較～」学校質問紙より

中学校



□年間1/2以上で行った □年間1/2未満で行った □行っていない

改善の指針3

読んだり聞いたりしたことを表現する活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を高める。

「話し合う活動をよく行っている」と感じる児童生徒が年々増加する傾向にあり、児童生徒の授業の中での意見交換や話し合いが定着してきた。しかし、「話したり聞いたりする指導」をよく行ったと回答した学校は、全国と同程度であるが、「書いたり読んだりする指導」はやや少ない。また、「実生活における事象との関連を図った授業」や「協働学習や課題発見・解決型の指導」等を行ったという学校も少ない。

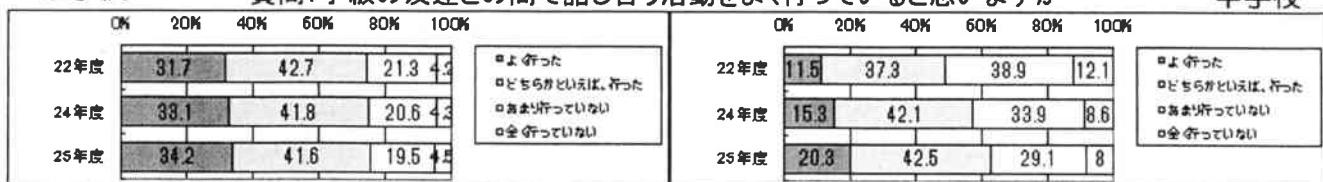
課題の発見や設定、仲間とともに課題を解決していく学習活動の中に、話し合いや読み書きの指導を効果的に取り入れ、思考力・判断力・表現力を育成する授業の実現を図りたい。

◇「話し合いに関する項目の経年変化」児童生徒質問紙より

小学校

質問：学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか

中学校



小学校

◇「指導法に関する項目の本県の傾向」学校質問紙より

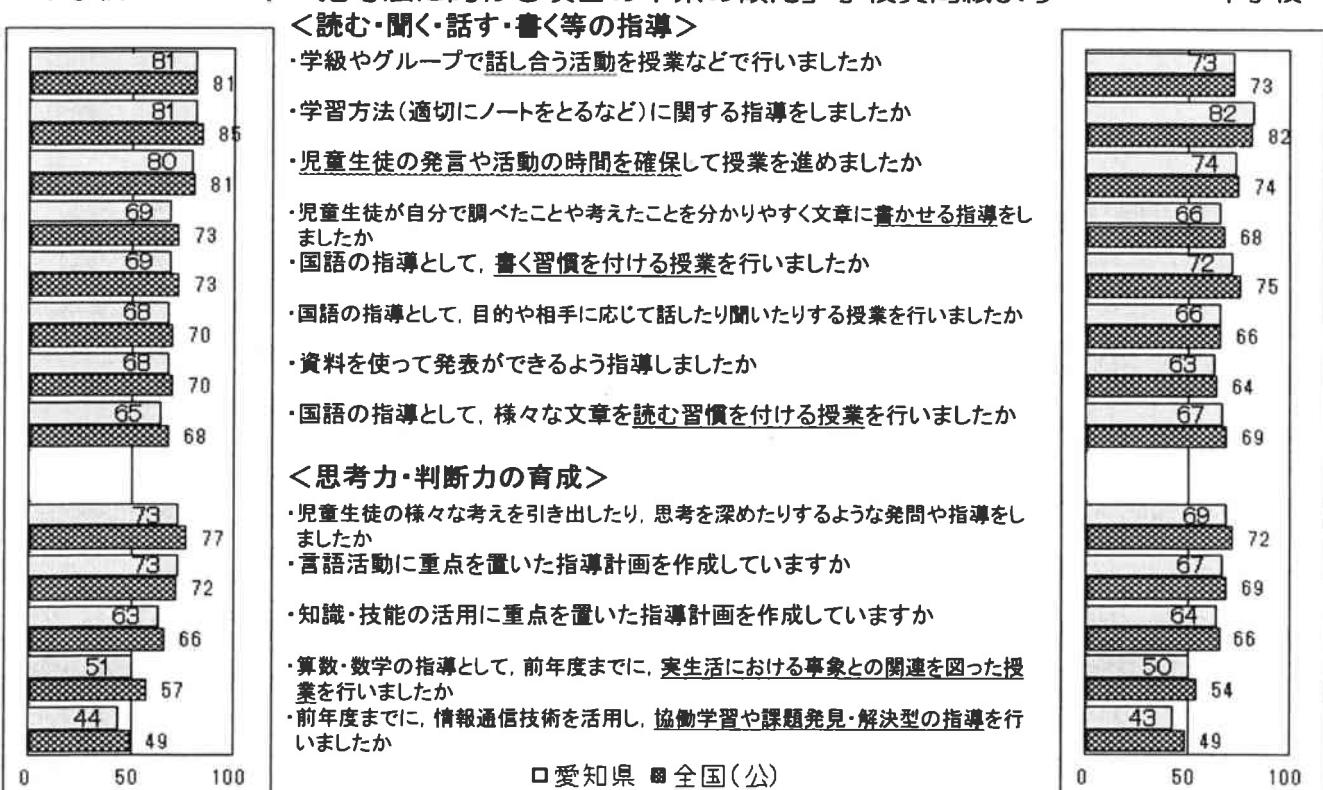
中学校

<読む・聞く・話す・書く等の指導>

- ・学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか
- ・学習方法(適切にノートをとるなど)に関する指導をしましたか
- ・児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか
- ・児童生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか
- ・国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行いましたか
- ・国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか
- ・資料を使って発表ができるよう指導しましたか
- ・国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか

<思考力・判断力の育成>

- ・児童生徒の様々な考え方を引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか
- ・言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか
- ・知識・技能の活用に重点を置いた指導計画を作成していますか
- ・算数・数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか
- ・前年度までに、情報通信技術を活用し、協働学習や課題発見・解決型の指導を行いましたか



100%の児童生徒が「当てはまる」と回答した場合

「どちらかといえば当てはまらない」…[33]

「どちらかといえば当てはまる」…[67]

「あてはまらない」…[0]

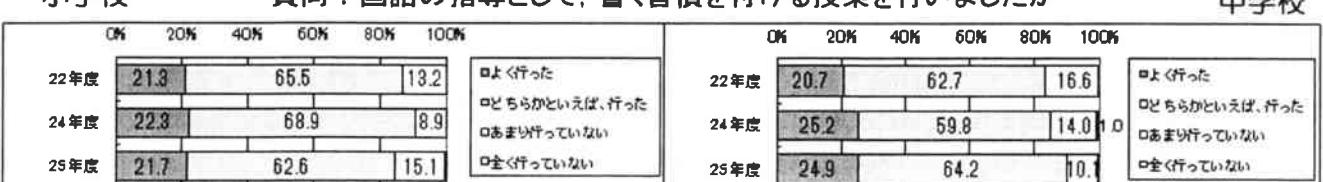
となる数に換算した。

◇「書く習慣を付ける指導の経年変化」学校質問紙より

小学校

質問：国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行いましたか

中学校



改善の指針4

家庭学習への意欲や習慣付けを促すための手立てを検討する。

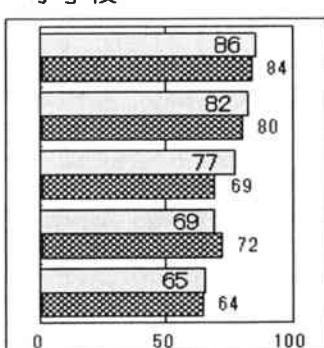
学力向上に向けた授業時間外の学校の取組として、本県は、家庭学習の課題を与えることで学習を促すとともに、その実施状況を評価指導する取組が多く行われている。また、児童生徒が家で宿題をする割合は全国と比べ高い。しかし、授業の復習や自分で計画を立て勉強をしていると回答している児童生徒の割合は依然として低い。

家庭や校内の教員との連携を図り、児童生徒が家庭学習の習慣を身に付け、それを自分の学力向上に活用できるように、今後も、家庭学習を促すための働きかけを進めるとともに、具体的な手立てを講じていきたい。

小学校

◇「家庭学習への学校の取組について」学校質問紙より

中学校



□ 愛知県 ■ 全国(公)

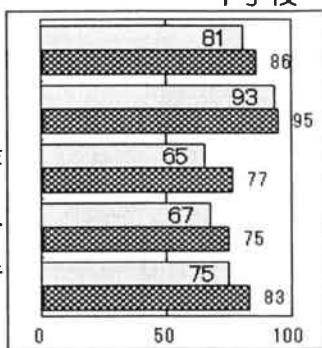
家庭学習の課題について、評価・指導しましたか(国・数平均)

家庭学習の課題(宿題)を与えましたか(国・数平均)

家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか(国・数平均)

前年度までに、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えていましたか(国・数共通)

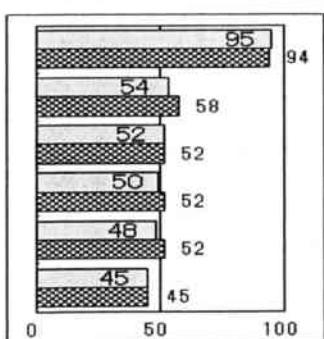
保護者に対して児童・生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか(国・数平均)



小学校

◇「児童生徒の家庭学習の状況の比較」児童生徒質問紙より

中学校



家で、学校の宿題をしていますか

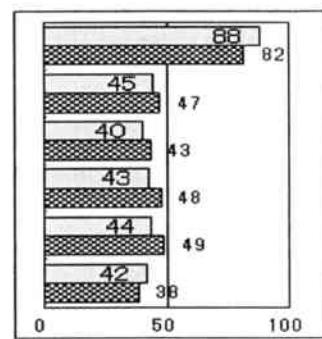
家で、自分で計画を立て勉強をしていますか

家で、テストで間違えた問題について勉強していますか

家で、苦手な教科の勉強をしていますか

家で、学校の授業の復習をしていますか

家で、学校の授業の予習をしていますか



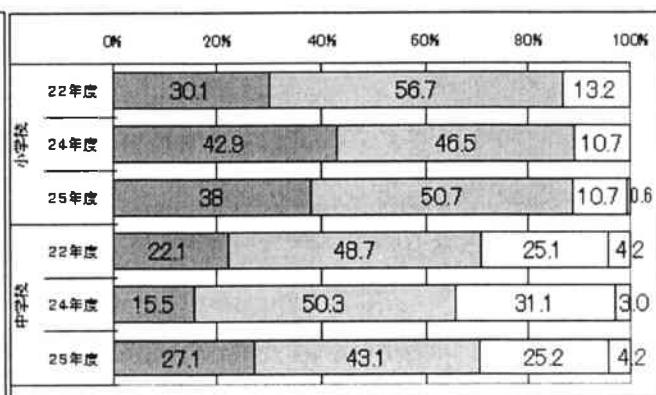
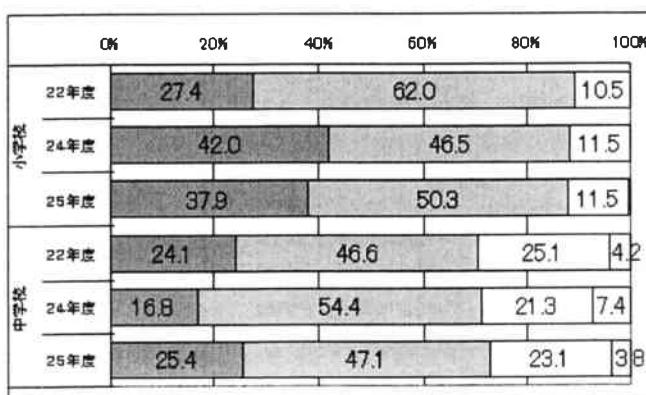
100%の児童生徒が「当てはまる」と回答した場合 … [100] 「どちらかといえば当てはまる」… [67] 「どちらかといえば当てはまらない」… [33] 「あてはまらない」… [0] となる数に換算した。

◇「本県の学校の取組の経年比較例」学校質問紙より

国語

質問: 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけをしましたか

算数・数学



□よく行った □どちらかといえば行った □あまり行っていない □全く行っていない

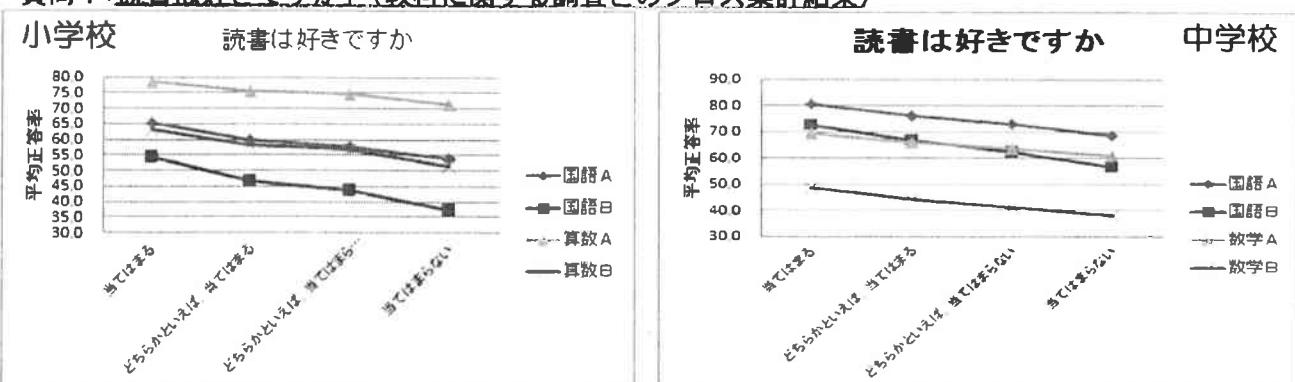
改善の指針5 読書習慣を形成するため、読書に親しむ機会を増やす。

児童質問紙と平均正答率の相関より、読書が好きな児童生徒ほど、平均正答率が高い傾向が見られる。本県の児童生徒は、およそ7割が「読書が好き」と回答しているが、「1か月の読書量」では、小学生は読む児童と読まない児童の冊数の差が大きく、中学生は、およそ3割が1冊も読んでいないという実態である。

一方、1週間に複数回一斉読書の時間を設けている学校は増加傾向にあり、各学校で読書に親しむ機会を増やし、読書習慣の形成を図ろうと工夫している。教科指導の中での教師によるお薦めの本の紹介や、全国に比べ多く配置されている学校司書を有効に活用するなどして、読書環境の整備、充実を一層図り、児童生徒が読書に親しむ機会を増やしたい。

◇「本県の児童生徒の読書に関する状況」児童生徒質問紙より

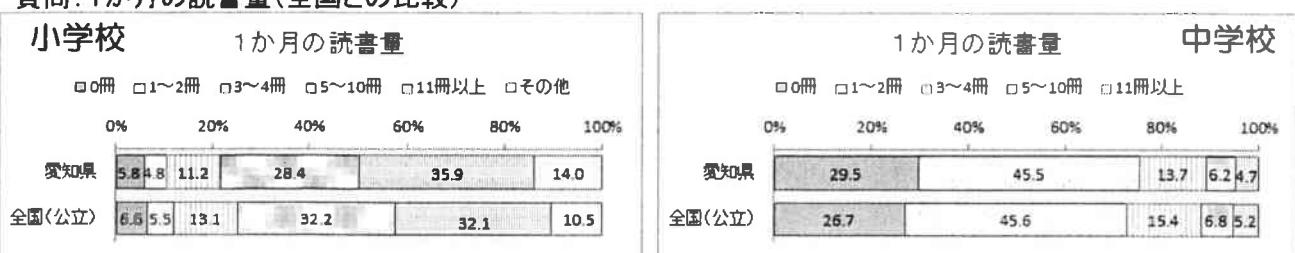
質問：「読書は好きですか」(教科に関する調査とのクロス集計結果)



質問：「読書は好きですか」(全国との比較)

	0%	20%	40%	60%	80%	100%
校内 25年度愛知	46.5	24.1	16.5	12.7		
校内 25年度全国	47.8	24.3	16.2	11.5		
校外 25年度愛知	46	23	16.8	13.9		
校外 25年度全国	46.2	23.9	16.6	13		
■当てはまる						
□どちらかといえば、当てはまる						
△どちらかといへば、当てはまらない						
◆当てはまらない						

質問：1か月の読書量(全国との比較)



◇「読書習慣の定着に向けた取組」学校質問紙より

質問：『朝の読書』などの一斉読書の時間を設けましたか

	0%	20%	40%	60%	80%	100%
校内 22年度	21.2	25.6	39.0	8.0	6.2	
校内 24年度	17.9	33.9	28.5	14.2	5.4	
校内 25年度	19.8	35.5	27.6	12.1	5.9	
校外 22年度	62.5	4.2	26.0	5.2		
校外 24年度	57.9	14.1	6.7	14.8	6.5	
校外 25年度	64.7	6.4	5.6	17.6	1.9	
■基本的に毎日行った						
□週に複数回、定期的に行った						
△月に複数回、定期的に行った						
◆不定期に行った						
◆行っていない						